

2017年12月25日

**電通、「ドリームワークス・アニメーション・テレビジョン」とアニメ作品を共同開発へ
— グローバル展開を見据え、人気フィギュア「ベアブリック」の映像化企画を始動 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、米国 100%子会社の Dentsu Entertainment USA, Inc.（電通エンタテインメント USA／ロサンゼルス、社長：木野下 有市）を通じ、米国大手アニメスタジオ「ドリームワークス・アニメーション・テレビジョン」（以下ドリームワークス）と、日本発の人気フィギュア玩具「BE@RBRICK」（ベアブリック）を原作としたテレビ向けアニメの共同企画開発契約を締結しました。

電通は、玩具やゲームなど、日本の優れた知的財産を原作としたグローバル市場向けの映像化事業に積極的に取り組んでいます。グローバル展開に向けた一つの方法として、日本の原作と米国のクリエイターによる企画を組み合わせた手法を用いており、現在制作中のアニメ「ロックマン」（原作：株式会社カプコン）の放送が米国大手放送局に決まるなど、業界で高い評価を得ています。

一方ドリームワークスは20年以上の実績を持つ米国の映画・テレビスタジオであり、代表作として「シュレック」「マダガスカル」「カンフー・パンダ」「ヒックとドラゴン」「トロールズ」「ボス・ベイビー」などがあります。現在は、世界最大級のメディア・エンターテインメント企業であるNBCユニバーサルグループの一部として運営されています。

電通はかねてよりアジアを中心に熱狂的なファンを抱える「BE@RBRICK」の可能性に着目してきましたが、このたびドリームワークスの賛同を得、共同で企画開発をスタートします。

■ 「BE@RBRICK」イメージ画像



© 2017 MEDICOM TOY

■「BE@RBRICK」(ベアブリック)について

世界中で愛され続けるテディベアの生誕 100 周年に当たる 2001 年に、「デジタルなイメージのテディベアを作る」というコンセプトを基に株式会社メディコム・トイ(本社:東京都渋谷区)より発売された約 7cm のクマ型ブロックタイプフィギュアです。9 つに分かれる本体のパーツ以外には何も付け加えず、「プリントだけでデザインする」というルールで作られています。

この「限らない表現の可能性」に共鳴し、かわいらしいフォルムに魅せられた多くのアーティストやブランド、企業、キャラクターなどと多彩なコラボレーションを展開する BE@RBRICK は、これまでに数千種類のアイテムをマーケットに発信し続けており、「アートなトイ」として世界中から多くのファンを獲得しています。

■ドリームワークス・アニメーション・テレビジョンについて

ドリームワークス・アニメーション・テレビジョンはユニバーサル・フィルム・エンターテインメント・グループ(UFEG)の一部門として、ファミリー向けアニメ番組を制作する世界最大手の制作会社です。世界 190 カ国でテレビ放送・オンデマンド配信を行い、その高いクオリティーによって 2013 年以降 17 のエミー賞を獲得しています。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
湊、小嶋 TEL: 03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コンテンツビジネス・デザイン・センター
映像・アニメ事業グループ アニメ&キャラクター事業部
今井、嵯峨 TEL: 03-6216-8122